

令和8年5月22日

各学校長 殿

宮城県高等学校理科学研究会会長
宮城県高等学校文化連盟自然科学専門部長
若林 春日
(宮城県白石高等学校長)
(公印省略)

第79回 宮城県高等学校 生徒理科研究発表会 (案内)

- 1 目的 宮城県内高等学校の自然科学系部活動の成果発表の場として、生徒理科研究の普及・発展を図るとともに、生徒相互の部活動に対する理解を深める。自然科学を志す生徒の育成を目指す。
- 2 主催 宮城県高等学校文化連盟自然科学専門部、宮城県高等学校理科学研究会
- 3 後援 宮城県教育委員会 (予定)、仙台市教育委員会 (予定)
- 4 場所 トークネットホール仙台
〒980-0823 宮城県仙台市青葉区桜ヶ岡公園4-1
- 5 会場 開会式・ポスター発表 展示室
本部・審査員控室 主催者準備室
生徒控室及び昼食会場 会議室、和室、教養室
役員・事務局控室 特別会議室
- 6 日時 令和8年11月5日 (木)
※ 時間は予定で、発表数によっては変更の可能性がある。
8:30~8:45 役員打合せ・会場準備
8:45~ 受付開始 ポスター掲示等準備 (発表40分前まで)
9:00~ 審査打合せ (各発表会場)
9:20~ 開会式
9:30~12:30 午前の部 発表・審査 (発表4~5分+質疑応答2~5分)
※ 物理・化学・生物・地学 分野ごとのスケジュールで進行。
13:30~16:00 午後の部 発表・審査 (発表4~5分+質疑応答2~5分)
16:00~ (審査協議)
16:30~ 閉会式及び結果発表
16:40~ 会場ごとにポスター片付け、撤去作業
~17:00 終了、解散
※ 各分野の質疑応答や終了の時間については、変更の可能性がある。
- 7 発表形式 すべての発表をポスター発表形式とする。1題あたりの審査時間はプレゼンテーションと質疑応答を含めて6~10分である (プレゼンテーションは5分以内)。
(1) 物理・化学・生物・地学の4分野を設け、分野ごとのスケジュールで審査を行う。
(2) A0サイズ縦型 (1189mm × 841mm、A4サイズで16枚分) を上限として、研究内容をまとめたポスターをパネルに掲示する。
(3) ポスターの前に立ち、随時、聴衆に対して説明、討論を行う。
(4) ポスターの前に椅子を置き、実物や模型を展示や、タブレット等で動画などを提示することもできる。

(5) コンセントの使用、生物や薬品の持ち込みは不可とする。

(6) 日本語による発表とする。

- 8 参加資格 宮城県高等学校文化連盟に加盟している高等学校・中等教育学校（4年次～6年次）・特別支援学校の高等部、高等専門学校（1年次～3年次）等の生徒とする。なお、同一生徒が、二つ以上のテーマに重複して参加することは認めない。（見学については中等教育学校 1年次～3年次も可）

9 表彰

(1) 全ての発表を表彰する。

(2) 上位チームの表彰（13の(1) 審査部門（部活動）のみ）

物理・化学・生物・地学の4分野において、それぞれ最優秀賞2題と部会長賞2題、合計16題を表彰し、そのうちの各分野上位2題を12月実施の第2回生徒研修会兼全国高校総文祭最終選考会の出場チームとする。（ただし、「いしかわ総文祭2027」の全日程に参加することが条件で、3年生のみによる発表題、授業における研究の発表題については除く）

(3) 審査結果（最優秀賞・部会長賞・最終選考出場チーム）は閉会式および宮城県高等学校理科学研究会ホームページにて発表する。

- 10 審査基準 全国高等学校総合文化祭自然科学部門の審査基準に準じて、ポスター発表を審査する。

(1) 発表要旨

評価はせず、審査のための事前資料とする。なお、要旨集はPDF形式にて電子化し、理科学研究会ホームページからダウンロードできるようにする。

(2) ポスター発表

次の4項目について審査する。

① 先行研究をよく理解している

先行研究をよく調べて、その内容を理解している。部活動として継続して取り組んでいるテーマについては、先輩が取り組んだことと自分たちが取り組んだことが明確に分けられている。

② 課題設定が適切である

先行研究を踏まえ、テーマの設定や目的の設定が適切である。着眼点が優れており、独創性、新規性がある。

③ 論理的に考察されている

結果にもとづき論理的に考察されており、矛盾がない。

④ 結果が適切にまとめられている十分な回数の実験が行われており、数値データが適切に処理され、グラフや表が分かりやすくまとめられ、写真や図が効果的に使われている。

- 11 全国推薦 令和9年7月に石川県で開催される第51回全国高等学校総合文化祭（いしかわ総文祭2027）自然科学部門の全日程に参加することを条件に、優れた理科研究を推薦する。最終選考は令和8年12月19日（土）の第2回生徒研修会で行う。

(1) 研究発表

物理・化学・生物・地学の4分野についてそれぞれ1題の理科研究を選考し、推薦する。

(2) ポスター（パネル）発表

物理・化学・生物・地学の4分野の中から1題の理科研究を選考し、推薦する。

- 12 参加費 発表1題につき1,000円の参加費を徴収する。参加費は講師・大学院生TAの謝礼に使用する。

- 13 申込区分 参加申込みは、以下の3区分のいずれかを選択してエントリーすること。なお、このエントリーについては、7月に行う「発表件数申込み」の際に行うこととする。また、申込後の区分変更については、審査部門からアドバイス部門への変更は認めるが、アドバイス部門から審査部門への変更は認めないものとする。

- (1) 審査部門（部活動）
専門分野の審査員による審査を受け、全国総文祭への出場を目指す。
- (2) アドバイス部門（部活動）
専門部長・副専門部長、大学院生 TA、他校顧問から助言を受け、今後の研究のブラッシュアップにつなげる。
- (3) 課題研究（部活動以外）
専門部長・副専門部長、大学院生 TA、他校顧問から助言を受け、今後の研究のブラッシュアップにつなげる。

14 申込日程 申し込みは、次の(1)～(4)の全ての項目について必須となります。

- (1) 発表件数申し込み、発表会当日出席する顧問の登録（係分担の決定のため）
令和8年7月21日（火）～7月31日（金）の期間に、「申込み要領」に従って必要事項の入力を行う。
- (2) 分野、発表題、発表者、見学参加者の申し込み
令和8年8月31日（月）～9月9日（水）の期間に、「申込み要領」に従って必要事項の入力を行う。
- (3) 発表要旨のファイル提出
令和8年9月24日（木）～10月1日（木）の期間に、「申込み要領」に従ってファイルを提出する。
- (4) 参加費の納入
令和8年10月19日（月）の第2回顧問会議において納入する。
*「申込要領」は、7月中旬以降に「宮城県高等学校理科研究会ホームページ」にアップするので、ダウンロードして使用する。

- 15 その他
- (1) 発表件数や人数、または分野によっては、1次審査と2次審査に分けて実施する場合がある。
 - (2) 1グループあたりの人数は問わないが、10名以内が望ましい。
 - (3) 自然科学専門部の役員、高等学校理科研究会の役員および生徒引率の顧問教員で分担して、前日までの準備や当日の運営にあたる。
 - (4) 分野ごとにスケジュールを組んで審査を行う。
 - (5) すべての発表題のポスターは午前・午後を通して掲示し続け、聴衆に対して随時発表する。
 - (6) 審査を行っているパネルの両隣以外は、聴衆に対して随時、説明や発表を行ってよい。
 - (7) 審査の一つ前から、自分のポスター近くで待機して発表に備える。
 - (8) 昼食は指定された場所でとること。
 - (9) 引率教員は、空き時間に指定された発表に対し助言を行う。
 - (10) 審査員の他、大学院生 TA を導入し、発表者の研究発表の機会を増やし、ディスカッションを活性化することを目的として、大学生による助言を取り入れる仕組みを導入する。
 - (11) 発表順については事務局において作成し、後日、顧問会議等の場で参加校に提示するものとする。なお、審査部門については審査運営上の都合により、午前中から発表を開始するものとし、遠方校であることを理由とした発表順の繰り上げ等の配慮は行わない。

問合わせ

宮城県高等学校文化連盟 自然科学専門部 事務局
(宮城県仙台第二高等学校内) 大久保 哲平
〒980-8631 宮城県仙台市青葉区川内澱橋通1
TEL : 022-221-5626 FAX : 022-221-5628
Mail: okubo-te686@td.myswan.ed.jp